

## 第10回井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会 資料

## ◆ 専門部会の進捗状況

(1) 学校運営部会 <第10回 令和6年6月26日(水)>

## 【校章デザインの最終案決定方法について】

○五つの校章デザイン案について児童投票を実施する。

○決定方法は、第1位の案が過半数の票を得るまで投票する方法とする。

1回目の投票で、第1位の案が過半数の票を得られないときは、第2位の案との決選投票を行う。

※1回目の投票で、第2位と第3位の得票が同数であった場合は、3案による投票を行う。

## 【校章デザインのアンケート案について】

手書きのデザイン等については、データ化した上で投票を実施する。

※3ページ(案)のとおり

## 【閉校記念事業の概要について】

○閉校記念式典 三田ヶ谷小、村君小 令和7年3月1日(土)

井泉小 令和7年3月8日(土)

○3校共通で行う事業は、次のとおりです。

- ・横断幕の作成
- ・記念誌の作成

## 【今後のスケジュールについて】

次回会議日程は、未定とする。次回は、校歌の作詞・作曲者への依頼結果やスケジュール、校章デザイン決定による関連事業の進捗について報告・協議する。

(2) 通学部会 <第10回 令和6年6月19日(水)>

## 【スクールバス運行の手引き(案)について】

内容を確認し、意見交換を行った。以下について、バス事業者とも協議を進め、手引き(案)を修正する。

主な意見は次のとおり。

- ・先生の働き方改革に伴い、登校時のスクールバス到着時間の調整について
- ・登校時の乗車名簿の受渡しに際し、ICカード利用による乗車名簿のタブレットでの確認について
- ・低学年児童へのシートベルトの装着方法の指導について
- ・登校時、下校時のみバスを利用することの可否及び手続について
- ・安全のためバスの窓は開けないようにすることについて

**【スクールバス運行ルート・バス停位置について】**

第10回通学部会資料により協議した。その後の調整を含め、現在のところ5ページにあるとおり検討中である。

**【今後のスケジュールについて】**

次回会議日程は、未定とする。次回は、バス事業者による使用バスでの試走の結果について報告・協議する。

**(3) 教育課程部会**

3校の児童が再編成後も円滑な人間関係を構築できるようにすること及び学校再編成に関する児童の不安を解消することを目的に、令和6年度も、1年間で各学年2回ずつ、交流事業を予定している。

**【1学期の交流事業の実施状況】**

- ・5月16日 6年生:陸上練習(井泉小)
- ・5月21日 4年生:授業交流会(井泉小)
- ・6月19日 5年生:林間学校準備・ダンス練習(村君小)
- ・6月24日 3年生:ムジナモ集会(水郷公園)

## 【校章デザインアンケート案】

羽生東小学校校章デザイン案

1つだけマークしてください。



案1



案2



案3



案4



案5

### 案1 校章デザインの説明

	<p>【校章デザインの説明】</p> <p>羽生市の藤を輪であらわし、雄大な利根の流れで藤を結び、その中心に三田ヶ谷小、村君小、井泉小の3校を新しい東小でまとめてみました。</p> <p>東小は、オレンジで朝日をイメージしました。</p>
--	---

## 案2 校章デザインの説明

	<p>【校章デザインの説明】</p> <p>校名の「羽生東」の羽の文字から羽根を連想し、統合の3校の数を配し、地域の人々からも親しまれるように、羽生市の花「フジ」の花と組み合わせ、従来の校章とは異にした、ソフトなイメージを持つ校章に仕上げました。</p>
---	---

## 案3 校章デザインの説明

	<p>【校章デザインの説明】</p> <p>井泉小・三田ヶ谷小・村君小の頭文字で新校「東小」を囲み、羽根に乗せることで、3校の良さを生かしつつ羽生市の新しい学校として羽ばたいてほしいという思いを込めました。</p>
--	---

## 案4 校章デザインの説明

	<p>【校章デザインの説明】</p> <p>青空と桜をイメージしたデザインです。羽の”羽と東”の頭文字を添えました。子どもたちを桜に見立てました。勉強やスポーツに励み、夢と希望の花をいっぱい咲かせていただきたいという思いを込めました。</p>
---	---

## 案5 校章デザインの説明

	<p>【校章デザインの説明】</p> <p>羽生の「羽」とEast(東)の「E」を翼の形で表現しました。子どもたちが羽ばたく羽生の大空をイメージした3色のブルーは、井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校の3校が一体となって調和する様子を表しています。現代的な印象を与えながらも、世代を超えて愛されるよう、シンプルで無理のないデザインを追求しました。</p>	
---	--	---